

広報 鳥海の里

題字
白光支援課 小野麗子さん

第148号 平成26年12月20日

発行 秋田県心身障害者
コロニー保護者会

保護者会事務局

TEL(0184)32-1082 FAX(0184)32-1083

生産品直売所「歩人」TEL(0184)32-0123

秋田県心身障害者コロニー

秋田県由利本荘市西目町出戸字孫七山3の2

TEL(0184)33-2255 FAX(0184)33-2044

ホームページアドレス <http://www.fukinoto.or.jp/colony> E-mail colony@fukinoto.or.jp



中央地区スポーツ交流会で
心身ともにリフレッシュ!!



主な内容

- *会員親睦交流会・自治会「ゆりの会」 2
- *平成26年度 自己評価について 3
- *行事写真特集 4・5
- *ふれあい文化祭作品展 他 6

会員親睦交流会を開催しました

昨年度に引き続き二度目の会員

また参加したいと思う。

親睦交流会が九月七日、十四日、十月二十六日に開催されました。

今年度は、会員同士がもっと気楽に交流ができるよう温泉施設を会場とし、また、次世代の方々にも参加していただけるよう日曜日を開催しました。

最初は緊張した面持ちで自己紹介等が行われましたが、食事をしながらリラックスして色々な話し合いができました。

今回は五十四名の参加でしたが、この交流会に一人でも多くの方が参加していただけたよう、来年度以降も続けていきたいと考えておりますので是非ご参加ください。ご要望をいくつかご紹介させていただきます。

- *自分と利用者の関係（甥姪）は遠いので、同じ立場にある方と話ができるたらと思い参加した。
- *初めて参加したが、普段にはない色々な話を聞くことができて良かった。共感することも多く



- *帰省した際の対応に困ることがあるのでアドバイスをお願いしたい。

- *職員の入れ替わりが激しく顔と名前が覚えられないでの、掲示するなどして工夫してほしい。

- *地域ごとの交流会も良いが、同じ寮の保護者の方々と話し合う場もあつたらよいと思う。

- *昨年参加して要望（対応や衣類等について）を伝えただところ改善されて良かつた。

- *本人を帰省させたいが、自分の高齢と送迎時の交通手段が確保できないため帰省させられなくて申し訳なく思う。

- *本人が、他の利用者と仲良く楽しめる生活を送ってほしいと願っている。

グループホーム 自治会「ゆりの会」～旅行編～

おいしい料理を楽しむコース、観光を楽しむコース、ドレスアップして記念写真コースなど、皆で意見を出し合い、一泊または日帰りの5コースを計画しました。他のホームの利用者との交流もあり、楽しい旅行になりました。

お土産は、この『えがお』です。



平成26年度 自己評価を実施

平成26年9月に、前年度同様「福祉サービス第三者評価」の評価基準を基に、事業団の障害・老人施設の特性を加味した自己評価を実施しました。今後もその結果を踏まえ、サービスの質の向上にむけ、取り組む課題をコロニー全体と各支援課が設定し、利用者様へより良いサービスの提供ができるよう取り組んでいきたいと思います。

★コロニー全体

1. 高齢化に伴い、ターミナル対応・認知症対応・体調を崩しやすく夜間の介護を必要とする利用者が増加傾向にある。また、夜勤体制時間帯での診療所対応の利用者支援・寮までの送迎など（寮に職員が不在となる、利用者事故、無断外出発生の恐れ等）支援員不足が課題となっている。今年度は職員の増員により銀杏重度棟が夜勤2名体制に移行することができたが、コロニー全体としては職員の欠員状況の改善には至っていない。引き続き職員の確保に努めるとともに支援体制の見直しを進める。
2. 新任職員については、個別に研修の機会を設け各寮の統括がOJTリーダーの役割を担い、普段の業務の中で取り入れているが十分ではない。採用職員の多くが福祉業界未経験者であり、支援業務に従事する以前のスキル（福祉の基礎知識、対人サービス等）を習得する機会が必要である。採用後の一定期間に新任職員および経験の浅い職員に対する継続的な研修を行い、OJTの充実を図ることで人材育成につなげる。

★創生支援課

- ・高齢化に伴い身体機能が低下し、自身では動く事ができない利用者が多くなっている。個々の状況に応じて対応しているものの、ベッドや車椅子で過ごす時間が長くなっているのが現状である。
支援手順の再検討や効率的な支援方法を職員間で共有し、職員自身がゆとりを持って支援できるような体制作りに努める。

★銀杏支援課

- ・各箇所の清掃については、一斉清掃や一斎居室清掃の時間などをを利用して行っているが、不十分な状態である。一斉清掃については、毎月の定例会議で事業予定に清掃箇所を盛り込み徹底していく。また、一斎居室清掃についても事業予定に毎月の居室の割り当てをし、重点的に清掃を行い、その結果については寮日誌に確実に記録する。

★赤光支援課

- ・利用者の高齢化や疾病による身体機能の低下により、内服薬の服薬支援方法に関しては利用者個々の状況および処方される薬の形態（錠剤・液体・粉末など）に応じた適切な服薬支援の検討が必要である。薬の飲み残しや誤薬予防も含め職員間での検討・対応の周知を図ることで支援の向上に努める。
- ・高齢者への適切な介護に関しては、各着眼点はある程度達成している。
しかしながら、要介護利用者の増加により現状の体制（夜勤1名・休日2名）では十分とは言えない。より良いサービスの提供をするためには各寮ともに夜間2名・休日3名の体制が望ましい。今年6月より、あやめ寮の移動に伴い特浴利用者が増えたことにより、現状の時間帯では日課に支障をきたしている状況にある。今後は利用者に適切な支援を提供できるよう課全体の日課の見直しが必要である。
また、ターミナルケアを含む医療的支援を必要とする利用者については、診療所でのフォローを継続すると共に課移動も視野に入れ検討を行うことで利用者支援サービスの向上に努める。

★白光支援課

- ・高齢化などで介護度が増している現状では、個別の利用者の希望に沿って余暇やレクリエーションを提供することが困難になってきている。日課の見直し等を含めて、皆が参加できるコンサートや食事会等の催しを企画すると共に、短時間であっても外出を行う等、より潤いのある生活を提供できるよう努める。

★開成支援課（さくら寮）

- ・利用者の高齢化が著しい現状において、毎朝の日課としてラジオ体操および手先を使う軽作業を取り入れている。また、個別に対応が必要な利用者には手すりを使っての歩行訓練など機能訓練を行い、身体機能低下防止に取り組んでいる。今後も高齢化が進む状況においては、身体機能の維持回復に加え、適切な身体介護が求められることから、状況に応じて対応を検討し取り組んでいく。

★開成支援課（かえで寮）

- ・利用者一人ひとりの障害特性や作業・訓練能力を考慮し、趣味や余暇活動の場を提供することで働きやすく楽しめる環境づくりに向け取り組んでいく。

真 特 集



白光支援課



赤光支援課

行事写



日帰り旅行



創生支援課



スポーツレクリエーション



銀杏支援課



平成26年度 ふれあい文化祭作品展



今年もたくさんの方の作品が
寄せられました。



◆ 善意・ボランティア

大仙市 佐藤一司 様

(故 佐藤和子さんの保護者)

秋田市 中道克彦さんの保護者)

にかほ市 佐藤 厳 様

(故 佐藤力ネイさんの保護者)

にかほ市 佐藤 美和子 様

(故 佐藤喜美子さんの保護者)

北日本コンピューターサービス(株) 様

(車いす ほか)

にかほウインドアンサンブル 様

美郷町 ほがらか会 様

にかほ市 サークル朋 様

にかほ市 かいじサークル麻の会 様

にかほ市 仁賀保高校 様

にかほ市 仁賀保地区民生児童委員 様

にかほ市 やまばと会・矢島高校 様

由利本荘市 西目町婦人会 様

由利本荘市 矢島地区ボランティア 様

由利本荘市 西目町母子寡婦福祉会 様

ご冥福をお祈りいたします

◆ 利用者

創生支援課 菊地 满さん (七十三歳)

銀杏支援課 佐藤力ネイさん (八十五歳)

湯川世知子さん (七十七歳)

鎌田喜一さん (八十八歳)

藤田克子さん (五十八歳)

佐藤喜美子さん (六十五歳)

伊藤悦朗さん (五十四歳)

中道克彦さん (七十七歳)

高橋佐代子さん (六十四歳)

沓沢傳市さん (七十七歳)

阿部孝美さん (六十一歳)

本間藤夫さん (七十三歳)

開成支援課 高橋佐代子さん (六十四歳)

白光支援課 斎藤 守さん (六十二歳)

赤光支援課 阿部孝美さん (六十一歳)

銀杏支援課 本間藤夫さん (七十三歳)

◇ 保護者 高橋佐代子さん (六十四歳)

赤光支援課 青山 京子さんの保護者

幸子さん 升さん

銀杏支援課 藤岡美由紀さんの保護者

博さん

◇ 保護者 阿部タキ子さんの保護者

九雄さん 博さん

白光支援課 長谷川るり子さんの保護者

成田 実さんの保護者

シゲ子さん 哲朗さん

◆ 利用者の動き

《移動》
白光支援課 庄司 勉さん
銀杏支援課へ